

米国心臓病学会で発表を行いました

2016年11月12日 - 16日にかけてアメリカ・ニューオーリンズで米国心臓病学会が開催されました。本学会は、世界各国から1万人以上の医師、医療従事者、研究者が参加する世界最大規模であり、心血管疾患に対する基礎から臨床まで幅広い研究発表が行われます。学会当日、日本の学会会場とは比較にならないほどの大きな会場で、多くの参加者が活発な議論を行っていました。私は、本学会において心肥大や心不全の発症・進展におけるエピジェネティックな転写制御機構に着目して研究した「Epigenetic Modifications via Histone Acetylation by p300 are changed during the Transition from Cardiac Hypertrophy to Heart Failure」についてポスター発表させていただきました。

本会中は、基礎研究だけでなく臨床における研究の最新の知見についても活発な議論が展開され、多くの刺激を受けることができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。

静岡県立大学大学院 薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 分子病態学講座
博士後期課程1年 船本雅文

関連リンク：静岡県立大学 分子病態学教室 <http://w3pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp/byoutai/>
GW-ICC (英語のページです) <http://en.gw-icc.org/>

